

令和4年6月14日発行
 京都府丹後保健所 保健課
 (丹後地域包括ケア推進社)

1 令和4年度丹後地域オレンジロードつなげ隊圏域連絡会(第1回)の開催について

5月31日(火)に今年度1回目の圏域連絡会をオンラインで開催しました。

「チームオレンジ」をテーマに、コロナ禍でもオレンジロードつなげ隊として活動を考え、どのような人に啓発をしていけば、認知症の方も楽しく安心して過ごすことのできる地域になるかを市町毎に話し合ってもらいました。

グループワークでの内容について、下記の表に簡単にまとめましたので、今後の活動のヒントにして下さい。

市町	「自分たちの地域」でもあったら良いな、こんなこと	「つなげ隊」としてできること、したいこと	啓発するターゲットは？
宮津市	<ul style="list-style-type: none"> ✓本人・家族・サポーターなど誰でも参加できる場所(空き家利用) ✓個人宅を開放して図書館をしている人がいる ✓当事者がしたいこと(畑・裁縫など)ができる・・・販売も ✓つなげ隊の参加するカフェ ✓置きベンチは直ぐ取り組める!? 	<ul style="list-style-type: none"> ✓通いの場での講話等 ✓当事者の声を聞くための場所作り(認知症カフェの見直し) ✓カフェに参加して地域のニーズや声を聞く 	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域の方 ✓学生やその親世代 ✓当事者家族
京丹後市	<ul style="list-style-type: none"> ✓「子ども支援団体」とのコラボ、各サロンの共同開催 ✓こども向け体験行事の講師をMCIの方にしてもらおう(調理、書道等) ✓放課後児童クラブに当事者や高齢者等の参加(参観) ✓置きベンチを設置したので、地域の交流スペースとして更なる発展 ✓オープンミーティングで当事者のしたいことを提案してもらおう 	<ul style="list-style-type: none"> ✓有線放送やケーブルTVの活動 ✓キャラバンメイトと協力して学校での授業で寸劇などを通して伝える ✓アルツハイマー月間などでつなげ隊活動の情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> ✓スーパー、コンビニなど接客サービス業の人 ✓人の利用が多い場所へのポスター掲示 ✓区長、民生委員、お寺、警察官、消防士、郵便局員、銀行員、タクシー運転手、病院窓口職員など ✓教育委員会を等して学校での講義や文通
伊根町	<ul style="list-style-type: none"> ✓移動手段が確保できる集まりの場所 ✓放課後児童クラブとふれあいサロンの融合 ✓各地区で集まる時間を作る 	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域で活動している人達の情報収集(居場所連絡会への参加) ✓区への働きかけ ✓啓発方法の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ✓区長に相談(区会へ提案) ✓こども達に認知症に関わる標語を作って発表してもらおう
与謝野町	<ul style="list-style-type: none"> ✓障害施設だけでない就労場所が欲しい(有償ボランティア) ✓家族の理解が進み、当事者が地域へ出て行きやすい雰囲気 ✓Webを活用して移動手段問題の解決の一助に 	<ul style="list-style-type: none"> ✓地域での催しに参加したい ✓啓発グッズを配布するだけでなく、普段からオレンジ色のマスクなどを付けることで啓発したい(歩く啓発)※マスクの作成を要望 ✓ケーブルTVでのPR ✓地域の活動グループ間の橋渡し 	<ul style="list-style-type: none"> ✓住民 ✓地域グループ、サークル ✓小中学生へのサポーター養成に加え、若い世代

2 令和4年度オレンジロードつなげ隊・認知症地域支援推進員合同研修会の開催について

6月8日（水）に京都府主催の標記研修会が綾部市会場にて開催されました。

3年ぶりの集合研修となり、丹後管内からは8名の新規受講の申込があり、既隊員と併せて17名の方が受講されました。

★ 新規隊員の紹介

宮津武田病院 1名	宮津北部地域包括支援センター 1名	なぎさ苑居宅介護支援事業所 1名	特別養護老人ホームタ凧の里 1名
第一生命 峰山オフィス 1名	みんなのうち加悦奥 1名	与謝野町社会福祉協議会 1名	与謝野町住民 1名

内容は、府若年性認知症コーディネーター（以降、Co）による実践事例の報告、各圏域での取組状況報告、各圏域で今後できそうなことに関するグループワークです。

なお、Coによる実践報告は、京セラ美術館で開催した若年性認知症当事者（下坂厚氏）の写真パネル展示会について、多くの異業種が集まり運営された話でした。



MBSNEWS から引用

3 啓発に活用してもらえる「ハンコ」を作成しました！

先日の丹後地域オレンジロードつなげ隊圏域連絡会にて、「コロナ禍でなかなか啓発イベントが開催できない中、何かオレンジ色の物を身につけて、普段から啓発できるよう『つなげ隊マスク』を作って欲しい」との要望が挙がりました。

イベント時に着用していただくためのTシャツやジャンパーは貸与していますが、より日常遣いのできる物が欲しいとのことでした。

そこで、要望の内容を詳しく聞き、より汎用性のある「つなげ隊キャラクターのフクロウのハンコ」を20個作成し、併せて専用スタンプ台も購入しました。

数には限りがありますが、希望される隊員へ貸し出しますので、希望される方はお知らせ下さい。

活用方法としては、①活動時に付けてもらう名札（貸与させていただいています）にはすでに印刷済みですが、施設等で普段付けられている各自の名札に押印する。②自身の名札に押印する。③不織布マスクに押印する。④配布する資料などに押印する。⑤その他、アイデア次第。

なお、不織布マスクや布などへの押印は若干色が薄くなりますが、ワンポイントとして活用してもらうのには問題ありません。

